

エマージング株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2021年12月14日～2022年6月13日

第 29 期 決算日：2022年6月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、エマージング・カントリーの株式等を実質的な主要投資対象とし、トップダウンとボトムアップの2つのアプローチを融合することで信託財産の成長を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

第29期末（2022年6月13日）

基準価額	11,312円
純資産総額	4,708百万円
騰落率	-3.3%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第29期：2021年12月14日～2022年6月13日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第29期首	11,698円
第29期末	11,312円
既払分配金	0円
騰落率	-3.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.3%の下落となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（2.5%）を5.8%下回りました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

ウクライナ情勢の悪化や米国などの金融政策の引締めなどが嫌気され、基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマークは、MSCI エマージング・インデックス（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2021年12月14日～2022年6月13日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	115	1.026	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(61)	(0.548)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.038)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.052	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(6)	(0.052)	
(c) 有価証券取引税	6	0.050	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(6)	(0.050)	
(d) その他費用	15	0.135	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.112)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(2)	(0.018)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	142	1.263	

期中の平均基準価額は、11,175円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

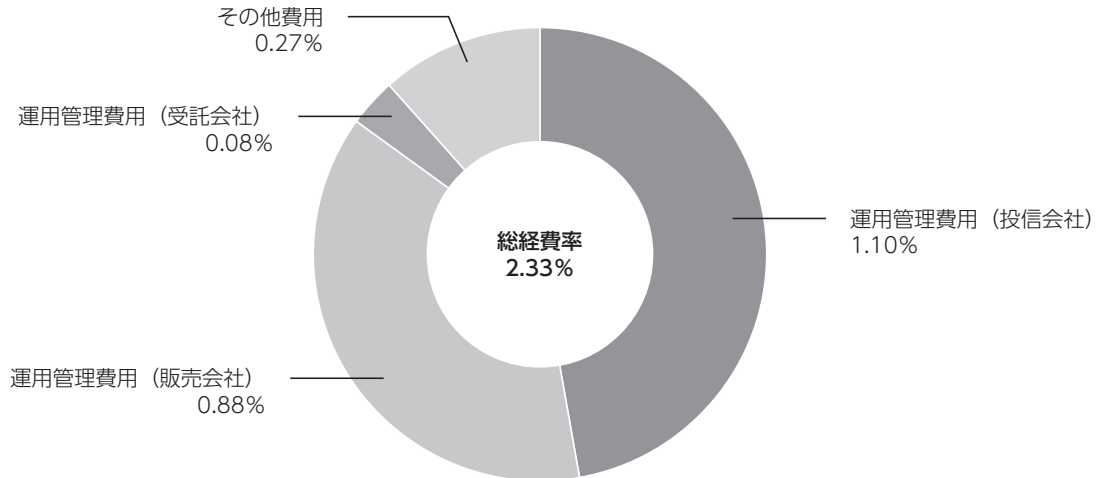
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.33%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

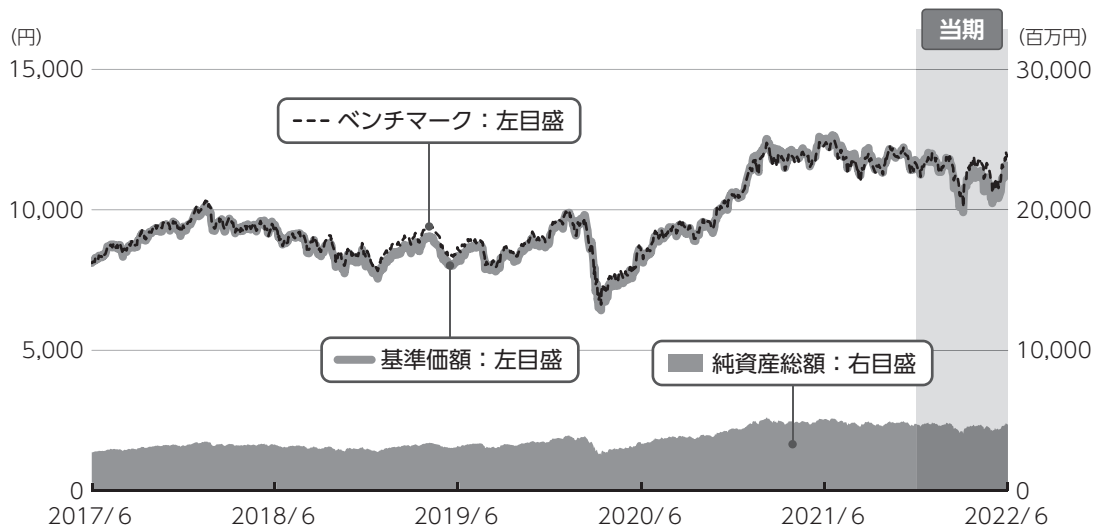
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年6月13日～2022年6月13日

最近5年間の基準価額等の推移について



※ベンチマークは、2017年6月13日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/6/13 期初	2018/6/13 決算日	2019/6/13 決算日	2020/6/15 決算日	2021/6/14 決算日	2022/6/13 決算日
基準価額 (円)	8,111	9,471	8,285	8,239	12,520	11,312
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	16.8	-12.5	-0.6	52.0	-9.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	16.5	-9.0	-2.2	46.8	-3.6
純資産総額 (百万円)	2,729	3,297	3,162	3,352	5,099	4,708

ベンチマークは、MSCI エマージング・インデックス (円換算) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第29期：2021年12月14日～2022年6月13日

投資環境について

▶ エマージング株式市況

エマージング株式市況は下落しました。

当期のエマージング株式市場は、ウクライナ情勢の悪化や米国などの金融政策の引締めなどが嫌気され、下落しました。

▶ 為替市況

香港ドルやブラジルレアルなどが円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ エマージング株式オープン

エマージング株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、高位に組み入れました。

▶ エマージング株式オープン マザーファンド

エマージング・カンントリー（新興国）の株式等を主要投資対象とします。

ポートフォリオの構築は、トップダウン（国、地域、セクターの状況等）およびボトムアップ（個別銘柄調査、バリュエーション等）による2つのアプローチの融合によって行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーおよびウエリントン・マネージメント・香港・リミテッドに委託しています。

新規組入、全売却した主な銘柄のポイン

トは以下のとおりです。

主な新規組入銘柄

VALE SA（ブラジル、素材）：ブラジルの資源開発会社です。寡占市場である鉄鉱石業界は収益環境が良好と見ています。人口増加や都市開発などを背景に世界的に鉄鋼需要は増加し続けるとみられ、同社にとって良好な収益環境が続くとみられ、新規購入しました。

主な全売却銘柄

AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L（メキシコ、コミュニケーション・サービス）：メキシコの大手通信事業会社です。タワー事業を新会社への分離が完了したものの、同分離は価値創造の観点で重要な転換点になると見ており、先行き不透明感から、全売却しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

▶ エマージング株式オープン

基準価額は期首に比べ、3.3%の下落となり、ベンチマークの騰落率（2.5%）を5.8%下回りました。実質的な運用を行っているマザーファンドの騰落率がベンチマークを4.8%下回りました。

マザーファンド保有以外の要因

信託報酬等の費用がマイナスに影響しました。

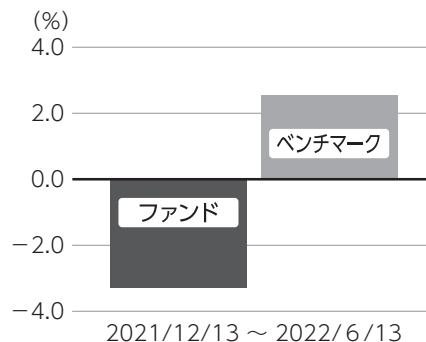
マザーファンド保有による要因

国・地域別では、サウジアラビアをベンチマークに対してアンダーウエイトとしたことなどが、マイナスに影響しました。

セクター別では、情報技術をベンチマークに対してオーバーウエイトとしたことなどが、マイナスに影響しました。

銘柄選択では、LUKOIL PJSC-SPON ADR（ロシア、エネルギー）をベンチマークに対してオーバーウエイトとしたことなどが、マイナスに影響しました。

基準価額（ベビーファンド）と
ベンチマークの対比（騰落率）



▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第29期 2021年12月14日～2022年6月13日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,291

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ エマージング株式オープン

引き続き、エマージング株式オープンマザーファンドの組入比率を高位に保ち、運用を行っていく方針です。

▶ エマージング株式オープン マザーファンド

株式等の組入比率は、原則として高位を保ち、運用を行っていく方針です。ポートフォリオの構築は、トップダウン

およびボトムアップによる2つのアプローチの融合によって行います。

コロナ禍では、デジタル化の進展などで社会の変化が加速しており、このような変化は魅力的な投資機会を生むと考えています。

銘柄の選別に際しては、ファンダメンタルズが良好で割安と思われる銘柄に投資を選別し組み入れる方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

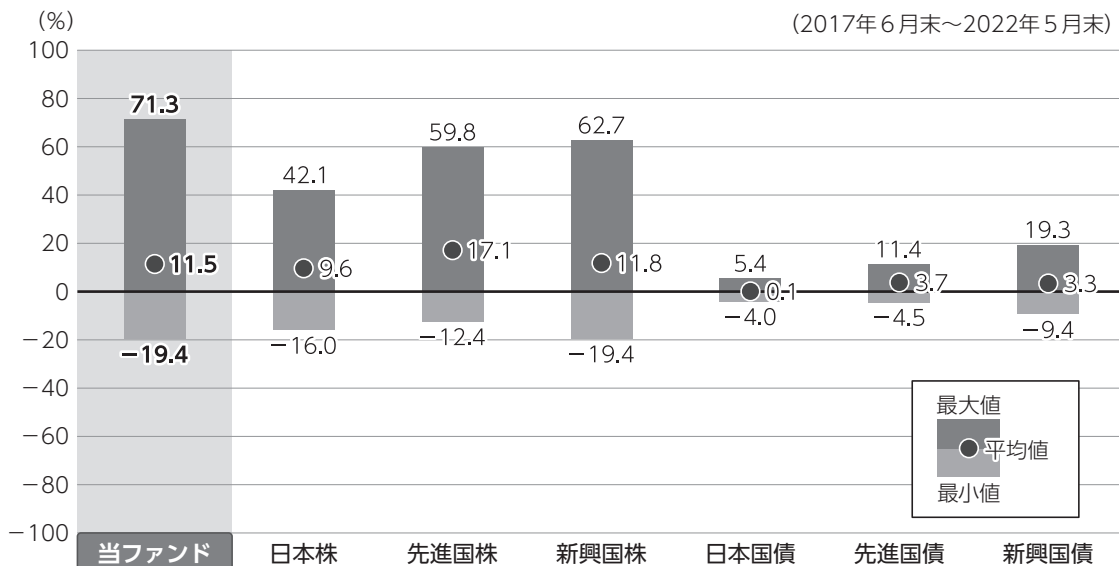
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2027年12月13日まで（2007年12月14日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド エマージング株式オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■エマージング株式オープン マザーファンド 新興国の株式等（預託証書またはカバード・ワラント等を含みます。）</p>
運用方法	<p>ポートフォリオの構築は、トップダウン（国、地域、セクターの状況等）およびボトムアップ（個別銘柄調査、バリュエーション等）による2つのアプローチの融合によって行います。</p> <p>実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>マザーファンドの運用指図委託契約に基づき、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーおよびウエリントン・マネージメント・香港・リミテッドに運用指図（主として新興国の株式等に係る運用指図）に関する権限を委託します。</p>
分配方針	<p>毎年6月13日および12月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年6月から2022年5月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年6月13日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第29期末 2022年6月13日
エマーシング株式オープン マザーファンド	99.5%

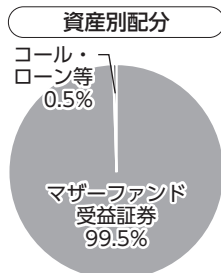
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

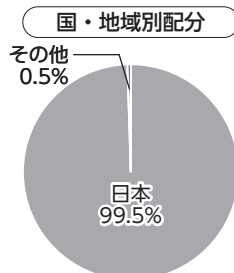
項目	第29期末 2022年6月13日
純資産総額 (円)	4,708,587,396
受益権口数 (口)	4,162,384,916
1万口当たり基準価額 (円)	11,312

※当期中において追加設定元本は185,909,293円
同解約元本は 74,593,854円です。

種別構成等

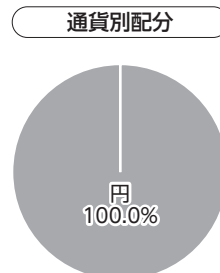


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類していません。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



154017

2022年6月13日現在

組入上位ファンドの概要

エマージング株式オープン マザーファンド

基準価額の推移

2021年12月13日～2022年6月13日



1万口当たりの費用明細

2021年12月14日～2022年6月13日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (株式)	8 (8)	0.052 (0.052)
(b) 有価証券取引税 (株式)	7 (7)	0.050 (0.050)
(c) その他費用 (保管費用)	19 (17)	0.130 (0.112)
(その他)	(3)	(0.018)
合計	34	0.232

期中の平均基準価額は、14,915円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：87銘柄)

銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	株式	台湾	情報技術	8.1
2 TENCENT HOLDINGS LTD	株式	中国	コミュニケーション・サービス	5.6
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	株式	韓国	情報技術	4.5
4 MEITUAN-CLASS B	株式	中国	一般消費財・サービス	3.8
5 BHARTI AIRTEL LTD	株式	インド	コミュニケーション・サービス	2.9
6 JD.COM INC-ADR	株式	中国	一般消費財・サービス	2.8
7 NETEASE INC-ADR	株式	中国	コミュニケーション・サービス	2.4
8 AIA GROUP LTD	株式	中国	金融	2.2
9 AXIS BANK LTD	株式	インド	金融	2.2
10 SK HYNIX INC	株式	韓国	情報技術	2.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

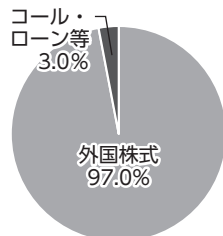
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

※原則、国・地域については、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーおよびウエリントン・マネージメント・香港・リミテッドが定義した区分を表示しています。

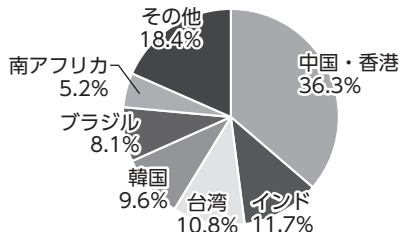
※業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類によるもので、運用報告書(全体版)「組入資産の明細」に記載されている業種と異なる場合があります。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

種別構成等

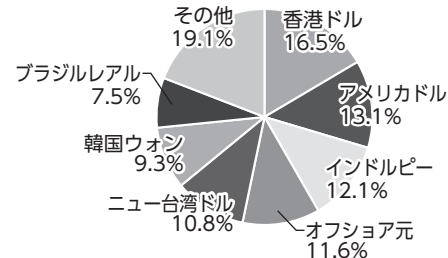
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーおよびウエリントン・マネージメント・香港・リミテッドが定義した区分を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『MSCI エマージング・インデックス（円換算）』について

MSCI エマージング・インデックス（円換算）は、MSCI エマージング・インデックス（米ドル建て税引き前配当込み）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPMorgan Global Diversified

JPMorgan Global Diversifiedとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。